

多様な人々の視点を

生かす 地域防災

～震災体験を実践へつなぐ～

子育てや
介護中の方、
ひとり親や
独居の方

病気の方や
障がいをか
かえた方

ペットや動物は？

高齢者や若者、
児童生徒・学生、
労働者…

盛岡で
直下型の
大震災が
起きたら

避難所はどこ？
家族との連絡は？
ライフラインの復旧は？

外国籍の方や
性的マイノリティーの方

持病の薬は？
病院は？

3・11の体験をもとに、 地域のみんなで考える防災力！！

【日 時】平成 26 年 2 月 11 日(火・祝日)10:30～15:00

【場 所】プラザおでつて 3F 大会議室(〒020-0871 盛岡市中ノ橋通 1-1-10)

【対象・定員】町内会役員・会員、市民 30 人

【内容・講師】＊午前の部：講演会「阪神・淡路大震災の経験と教訓をつなぐ」

講師 公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構

副理事長 ^{きよはら けいこ} 清原 桂子さん

＊午後の部：ワークショップ「震災体験をもとに多様な視点で考える地域防災」(仮)

講師 東京大学社会科学研究所

特任研究員 ^{みながわ ますみ} 皆川 満寿美さん

【受講料】無料

【託 児】有料(子ども 1 人につき 1 回 800 円)、対象は 6 カ月から未就学の子ども先着 5 人

【申し込み】1 月 27 日(月)10 時より、FAX(050-2013-4750)にて先着順

参加申込書

もりおか女性センター行き

(ファックス：050-2013-4750)

- ・送信番号の間違いないようご注意ください
- ・送信後は、電話(604-3303)にて着信の確認をお願いします
- ・託児をお申込みの方には、担当者より改めてご連絡いたします
- ・個人情報の取扱いは、もりおか女性センターが適切に管理いたします

No.	氏名	住所	電話番号	町内会名・団体名	託児
1					有・無
2					有・無
3					有・無

「地域コミュニティ」は、家庭と共に人々にとって最も身近な暮らしの場です。地域には性別に関わらず多様な人々が暮らしており、高齢者や若者、子育てや介護中の方、障がいをかかえた方、外国籍の方、性的マイノリティの方などさまざまな人々がコミュニティを形成しています。

その中で、高齢化の進行や単身世帯の増加などにより人間関係の希薄化などさまざまな変化が生じており、性別に関わらず地域に暮らす人々が共に支え合わないと立ち行かなくなる状況にあります。

地域力を高め、持続可能な社会を構築するためには、地域における男女共同参画が不可欠です。東日本大震災から3年を迎えるにあたり、震災時の体験をもとに多様な人々の視点を生かした「地域防災」の在り方と非常時における実践について、学び・ふりかえり・考える機会とします。

主催：盛岡市

(主管：もりおか女性センター)

共催：盛岡市町内会連合会

後援：岩手県、岩手県教育委員会、岩手県警察本部、
盛岡市教育委員会、岩手大学男女共同参画推進室、
岩手県社会福祉協議会、岩手県看護協会、岩手県助産師会、
盛岡市社会福祉協議会、盛岡市民生児童委員連絡協議会、
盛岡人権擁護委員協議会、盛岡市婦人防火クラブ連合会、
もりおか女性の会、エンパワーメント11(い)わて、
岩手レインボー・ネットワーク

●問い合わせ・申し込み先●

もりおか女性センター本館

電話 019-604-3303 / ファックス 050-2013-4750

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって 5F

http://mjc.sankaku-npo.jp

指定管理者：特定非営利活動法人参画プランニング・いわて



※専用駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください